

何時になったら静かな中で夢を見ることができるのだろうか… 私は今日も爆音の中で眠るのだ…

【作品概要】

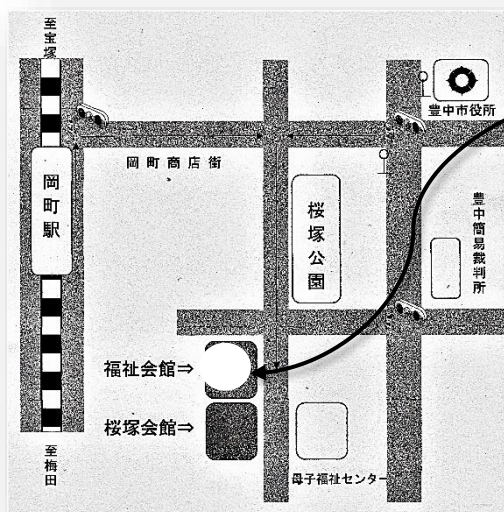
- ・「私は今日も爆音の中で眠るのだ…1968年、沖縄」…基地に囲まれた返還前の日常を鮮明にとらえ、現代日本の焦点として描いた長編記録映画です。
- ・この作品は東陽一が監督、脚本、編集の三役を担い、戦後23年の沖縄をとらえた長編記録映画であり、彼のデビュー作品です。

- ・制作/ 東プロダクション (1969年)
モノクロ スタANDARD ドキュメンタリー
- ・上映時間/ 1時間30分

【作品内容】

映画は、再生ガラス工場でガラスビンが打ち砕かれるシーンからはじまる。砕かれるのはコーラの空きびん。飛び散るガラスの破片、溶鉱炉の炎。「日本の政府とね、日本の国民はね、私たちをアメリカに売り払った…それは娘を売り払った親父と同じ…恥ずかしくないのか」と。

返還前の日常に横たわる沖縄の数多くの風景、貌、そして人々の声。このさまざまな現実の破片を寄せ集めてみると、沖縄列島全体が世界に不協和音を発していることに気づく。戦後23年、基地に囲まれた沖縄の日常を鋭く、そして深くとらえた問題作品です。



会場案内

豊中市中桜塚2-28-7

TEL 06-6843-6951

阪急宝塚線岡町駅から

東へ徒歩約7分

駐車場は殆どありません

市役所の駐車場をご利用ください